



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2026年8月6日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東
コード番号 6113 URL <https://www.amada.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 山梨 貴昭
問合せ先責任者（役職名） 経営財務部門長（氏名） 土本 浩司（TEL）0463-96-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	100,210	29.7	7,430	84.0	7,668	97.8	5,440	100.0	5,473	101.2
2026年3月期第1四半期	77,273	△7.0	4,037	△52.9	3,877	△58.2	2,719	△58.4	2,719	△58.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 9,643百万円（58.2％） 2026年3月期第1四半期 6,096百万円（△70.9％）

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	17.63	—
2026年3月期第1四半期	8.47	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	763,032	539,494	534,835	70.1
2026年3月期	772,109	540,358	535,467	69.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		32.00	—	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	460,000	5.2	48,000	7.1	34,000	11.3	109.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	317,451,417株	2026年3月期	317,451,417株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	7,111,193株	2026年3月期	6,918,530株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	310,468,520株	2026年3月期1Q	321,118,171株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、役員報酬B I P信託口が保有する当社株式を含めております(2027年3月期1Q 140,396株、2026年3月期 158,100株)。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(セグメント情報)	14
(継続企業の前提に関する注記)	15
3. 補足情報	16
受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「Transform to AMADA 2030 >> For Growth Acceleration ～変革を原動力に、新たな成長ステージへ～」をスローガンとする「中期経営計画2030」を策定し、公表いたしました。本計画の5年間を、前半2年の「変革・成長期（構造改革）」と後半3年の「成長加速期」に分け、環境変化に応じた進捗管理を行い、目標達成に向けて①構造改革（稼ぐ力の強化）、②経営基盤の強化、③事業ポートフォリオ経営、④事業成長を支える新商品展開、⑤「モノ売り」から「モノ×コト売り」への変革、⑥新規事業の創出・強化の6つの戦略方針により、持続的な成長と企業価値の最大化に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクを背景に先行き不透明感が続くものの、A I 関連投資の拡大が牽引するなど、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上収益は100,210百万円（前年同期比29.7%増）となりました。国内では、人手不足を背景とした自動化需要が底堅く、29,360百万円（前年同期比16.6%増）となりました。海外では、A I ・データセンター関連の需要が世界的に高まったことなどから、70,850百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

営業利益は、増収や円安効果に加え、製造合理化などの取り組みが寄与し、7,430百万円（前年同期比84.0%増）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,473百万円（前年同期比101.2%増）となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

詳細につきましては「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
シートメタルソリューションズ					
売上収益	53,227	68.8	63,586	63.5	19.5
営業利益	2,188	—	5,530	—	152.8
ジョイニングテクノロジーズ					
売上収益	6,158	8.0	8,440	8.4	37.1
営業利益	172	—	1,079	—	525.4
カッティングファブリケーター・グライインディングテクノロジーズ					
売上収益	9,949	12.9	9,848	9.8	△1.0
営業利益	1,016	—	855	—	△15.9
アドバンスドフォーミングソリューションズ					
売上収益	7,638	9.9	10,308	10.3	35.0
営業利益	442	—	1,231	—	178.1
エレクトロニクスプロセス					
売上収益	—	—	7,733	7.7	—
営業利益又は損失(△)	—	—	△1,473	—	—
その他(注)					
売上収益	300	0.4	292	0.3	△2.4
営業利益	217	—	206	—	△4.7
調整額					
売上収益	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	77,273	100.0	100,210	100.0	29.7
営業利益	4,037	—	7,430	—	84.0

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

① シートメタルソリューションズ

売上収益は63,586百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益は5,530百万円（前年同期比152.8%増）となりました。

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	14,791	27.8	16,844	26.5	13.9
海 外	38,435	72.2	46,742	73.5	21.6
(北米)	(19,306)	(36.3)	(26,045)	(41.0)	(34.9)
(欧州)	(13,080)	(24.6)	(14,113)	(22.2)	(7.9)
(アジア他)	(6,049)	(11.3)	(6,583)	(10.3)	(8.8)
合 計	53,227	100.0	63,586	100.0	19.5

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。（以下の表も同様。）

国内では、人手不足を背景とした自動化需要の底堅さに加え、半導体製造装置やデータセンター、医療、特装車、食品など、幅広い業界における設備投資需要が売上を牽引しました。海外では、北米におけるデータセンター需要の拡大が継続しました。欧州では、底堅い内需に支えられた英国に加え、建築及び再生可能エネルギー分野などからの需要が寄与したスペインなどが堅調に推移しました。アジアでは、ベトナムやマレーシアでの生産移管やA I インフラ投資の拡大が業績に寄与しました。

② ジョイニングテクノロジーズ

売上収益は8,440百万円（前年同期比37.1%増）、営業利益は1,079百万円（前年同期比525.4%増）となりました。

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	970	15.8	1,491	17.7	53.7
海 外	5,187	84.2	6,949	82.3	34.0
(北米)	(1,566)	(25.4)	(1,667)	(19.8)	(6.4)
(欧州)	(1,332)	(21.6)	(1,412)	(16.7)	(6.0)
(アジア他)	(2,288)	(37.2)	(3,869)	(45.8)	(69.1)
合 計	6,158	100.0	8,440	100.0	37.1

国内では、半導体製造装置やデータセンター関連向けを中心に堅調に推移しました。海外では、米国でデータセンター関連、中国で電子部品などA I 関連設備向け、インドでE V 二輪市場の拡大に伴う周辺部品向けの設備投資が高水準で推移しました。

③ カuttingファブリーケータ・グラインディングテクノロジーズ

売上収益は9,848百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は855百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	3,924	39.4	3,781	38.4	△3.6
海 外	6,024	60.6	6,067	61.6	0.7
合 計	9,949	100.0	9,848	100.0	△1.0

海外では、前期に引き続き北米及び欧州にて航空産業向け難削材対応の超硬ブレードが堅調に推移しました。国内では、半導体やデータセンター関連を中心とした設備投資により研削盤が回復基調にある一方、資材高騰や人手不足に伴う建設市場の停滞を受けて、切削マシンの売上が伸び悩みました。

④ アドバンスドフォーミングソリューションズ

売上収益は10,308百万円（前年同期比35.0%増）、営業利益は1,231百万円（前年同期比178.1%増）となりました。

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	5,192	68.0	6,180	60.0	19.0
海 外	2,445	32.0	4,128	40.0	68.8
合 計	7,638	100.0	10,308	100.0	35.0

国内では、人手不足を背景としたプレスシステムラインに加え、エイチアンドエフとのシナジーによる自動車関連向け大型ラインが業績に寄与しました。海外では、中国で通信関連向けが堅調に推移するとともに、北米でエイチアンドエフの大型プレス案件が業績を牽引しました。

⑤ エレクトロニクスプロセス

売上収益は7,733百万円、営業損失は1,473百万円となりました。

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	—	—	773	10.0	—
海 外	—	—	6,959	90.0	—
合 計	—	—	7,733	100.0	—

当期の売上収益は受注から売上計上までのリードタイムの関係上、前年度の受注に基づくため、A I 関連向け等を中心に好調な足元の受注水準とは一時的な乖離が生じております。しかしながら、足元の豊富な受注残高を背景に、生産能力の拡充を図りつつ納期に応じた出荷及び据付対応を推進しており、下期以降の売上収益は順次拡大していく見通しです。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	25,173	32.6	29,360	29.3	16.6
海 外	52,099	67.4	70,850	70.7	36.0
(北米)	(24,682)	(31.9)	(31,930)	(31.9)	(29.4)
(欧州)	(16,074)	(20.8)	(18,162)	(18.1)	(13.0)
(アジア他)	(11,342)	(14.7)	(20,756)	(20.7)	(83.0)
合 計	77,273	100.0	100,210	100.0	29.7

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)	増減
流動資産(百万円)	498,034	491,776	△6,258
非流動資産(百万円)	274,074	271,256	△2,818
総資産(百万円)	772,109	763,032	△9,076
負債(百万円)	231,751	223,538	△8,212
資本(百万円)	540,358	539,494	△864
親会社所有者帰属持分比率	69.4%	70.1%	0.7%pt

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9,076百万円減少し、763,032百万円となりました。流動資産は主に前期末に売上計上した営業債権の回収が進んだことにより、6,258百万円減少の491,776百万円となり、非流動資産は主に有形固定資産の減価償却により2,818百万円減少の271,256百万円となりました。

負債は、主に未払法人所得税が減少したことにより、8,212百万円減少の223,538百万円となりました。また資本については、主に配当金の支払いにより、864百万円減少の539,494百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末と比べ69.4%から70.1%と0.7%pt増加しました。

連結キャッシュ・フローの区分別状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の取得や前期の利益に応じた法人税の支払いが生じたものの、税引前四半期利益の増加及び営業債権の回収が進んだことなどにより、15,088百万円の収入(前年同期は、13,005百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産及び無形資産の取得により、1,474百万円の支出(前年同期は、11,245百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、11,778百万円の支出(前年同期は、11,631百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ2,065百万円増の155,692百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2026年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	153,626	155,692
営業債権及びその他の債権	158,052	136,281
棚卸資産	157,746	171,478
その他の金融資産	10,682	11,314
その他の流動資産	17,602	16,680
小計	497,709	491,448
売却目的で保有する資産	324	328
流動資産合計	498,034	491,776
非流動資産		
有形固定資産	182,199	180,061
のれん	31,104	31,147
無形資産	24,184	22,982
持分法で会計処理されている 投資	951	1,070
その他の金融資産	10,879	11,098
繰延税金資産	16,044	16,385
その他の非流動資産	8,710	8,511
非流動資産合計	274,074	271,256
資産合計	772,109	763,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	51,809	50,011
借入金	72,800	72,328
未払法人所得税	12,910	6,160
その他の金融負債	3,703	4,369
引当金	4,412	4,276
その他の流動負債	51,489	52,648
流動負債合計	197,125	189,796
非流動負債		
借入金	8,000	8,000
その他の金融負債	11,999	11,909
退職給付に係る負債	5,449	5,713
引当金	175	175
繰延税金負債	3,848	2,900
その他の非流動負債	5,153	5,044
非流動負債合計	34,625	33,742
負債合計	231,751	223,538
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	83,588	83,654
利益剰余金	339,023	334,865
自己株式	△11,791	△12,417
その他の資本の構成要素	69,878	73,965
親会社の所有者に帰属する 持分合計	535,467	534,835
非支配持分	4,891	4,658
資本合計	540,358	539,494
負債及び資本合計	772,109	763,032

(2) 要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	77,273	100,210
売上原価	△44,324	△58,151
売上総利益	32,948	42,059
販売費及び一般管理費	△29,326	△34,899
その他の収益	475	367
その他の費用	△61	△96
営業利益	4,037	7,430
金融収益	308	958
金融費用	△518	△793
持分法による投資利益	49	73
税引前四半期利益	3,877	7,668
法人所得税費用	△1,157	△2,228
四半期利益	2,719	5,440
四半期利益（△損失）の帰属		
親会社の所有者	2,719	5,473
非支配持分	△0	△32
四半期利益	2,719	5,440
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	8.47	17.63
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	2,719	5,440
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	1,991	109
項目合計	1,991	109
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,393	4,086
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	0	0
持分法によるその他の包括利益	△8	6
項目合計	1,385	4,093
その他の包括利益合計	3,376	4,202
四半期包括利益	6,096	9,643
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,740	9,560
非支配持分	355	82
四半期包括利益	6,096	9,643

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2025年4月1日残高	54,768	101,635	323,203	△10,106	1,690	47,988	33	49,711	519,212	4,537	523,750
四半期利益（△損失）	—	—	2,719	—	—	—	—	—	2,719	△0	2,719
その他の包括利益	—	—	—	—	1,991	1,037	△8	3,020	3,020	355	3,376
四半期包括利益	—	—	2,719	—	1,991	1,037	△8	3,020	5,740	355	6,096
配当金	—	—	△9,963	—	—	—	—	—	△9,963	△0	△9,964
株式報酬取引	—	22	—	—	—	—	—	—	22	—	22
自己株式の取得	—	—	—	△642	—	—	—	—	△642	—	△642
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2	—	△2	—	—	△2	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	22	△9,961	△642	△2	—	—	△2	△10,583	△0	△10,583
2025年6月30日残高	54,768	101,658	315,961	△10,749	3,679	49,025	24	52,729	514,369	4,893	519,262

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2026年4月1日残高	54,768	83,588	339,023	△11,791	320	69,517	39	69,878	535,467	4,891	540,358
四半期利益（△損失）	—	—	5,473	—	—	—	—	—	5,473	△32	5,440
その他の包括利益	—	—	—	—	110	3,970	6	4,087	4,087	115	4,202
四半期包括利益	—	—	5,473	—	110	3,970	6	4,087	9,560	82	9,643
配当金	—	—	△9,631	—	—	—	—	—	△9,631	△315	△9,947
株式報酬取引	—	40	—	—	—	—	—	—	40	—	40
自己株式の取得	—	—	—	△653	—	—	—	—	△653	—	△653
自己株式の処分	—	25	—	26	—	—	—	—	52	—	52
所有者との取引額等合計	—	65	△9,631	△626	—	—	—	—	△10,192	△315	△10,507
2026年6月30日残高	54,768	83,654	334,865	△12,417	431	73,488	46	73,965	534,835	4,658	539,494

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,877	7,668
減価償却費及び償却費	5,021	6,061
株式報酬費用	22	40
金融収益及び金融費用	△293	312
持分法による投資利益	△49	△73
固定資産除売却損益	2	36
棚卸資産の増減	△11,550	△12,435
営業債権及びその他の債権の増減	25,088	23,314
営業債務及びその他の債務の増減	△1,590	△1,622
退職給付に係る負債の増減	△89	101
引当金の増減	△173	△155
その他	△2,192	1,299
小計	18,073	24,548
利息の受取額	281	342
配当金の受取額	29	35
利息の支払額	△17	△309
法人所得税の支払額	△5,361	△9,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,005	15,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	10,548	△493
有価証券の売却及び償還による収入	9,000	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	4	0
有形固定資産の取得による支出	△1,618	△466
有形固定資産の売却による収入	32	41
無形資産の取得による支出	△890	△588
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,419	—
その他	△410	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,245	△1,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	103	169
短期借入れの返済による支出	△185	—
短期借入金の純増減額	△159	△788
リース負債の返済による支出	△779	△746
自己株式の取得による支出	△642	△653
配当金の支払額	△9,968	△9,634
非支配持分への配当金の支払額	△0	△178
その他	0	52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,631	△11,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	897	230
現金及び現金同等物の増減額	13,516	2,065
現金及び現金同等物の期首残高	104,841	153,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,358	155,692

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	シートメ タルソリ ュショ ンズ	ジョイ ニン グテ クノ ロ ジ ー ズ	カッ ティ ン グ フ ァ ブ リ ケ ー タ ・ グ ラ イ ン デ ィ ン グ テ ク ノ ロ ジ ー ズ	アドバ ンス ドフ ォー ミ ン グ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	エレ ク ト ロ ニ ク ス プ ロ セ ス	その他	合計	調整額	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
売上収益									
外部顧客からの売上収益	53,227	6,158	9,949	7,638	—	300	77,273	—	77,273
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	53,227	6,158	9,949	7,638	—	300	77,273	—	77,273
セグメント利益	2,188	172	1,016	442	—	217	4,037	—	4,037
金融収益									308
金融費用									△518
持分法による投資利益									49
税引前四半期利益									3,877

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。
3. エレクトロニクスプロセス事業のピアメカニクス株式会社の業績につきましては、2025年7月1日の連結子会社化に伴い、前中間連結会計期間より連結範囲に含めております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	シートメタルソリューションズ	ジョイニングテクノロジー	カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジー	アドバンスドフォーミングソリューションズ	エレクトロニクスプロセス	その他	合計	調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
売上収益									
外部顧客からの売上収益	63,586	8,440	9,848	10,308	7,733	292	100,210	—	100,210
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	63,586	8,440	9,848	10,308	7,733	292	100,210	—	100,210
セグメント利益又は損失(△)	5,530	1,079	855	1,231	△1,473	206	7,430	—	7,430
金融収益									958
金融費用									△793
持分法による投資利益									73
税引前四半期利益									7,668

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、当期初(2026年4月1日)から、市場環境の変化に迅速に対応するため、事業ごとの責任と権限を明確にする「ビジネスユニット(BU)制」を導入しました。

この組織再編に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントの「金属加工機械」に含めていた「板金部門」に係る事業は、一部事業を除き「シートメタルソリューションズ」へ、「微細溶接部門」に係る事業は、「板金部門」から除かれた一部事業を加えて「ジョイニングテクノロジー」へ、それぞれ名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。同様に、従来「金属工作機械」に含めていた「切削・研削盤部門」及び「プレス部門」に係る事業は、それぞれ「カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジー」、「アドバンスドフォーミングソリューションズ」に名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。加えて、従来「その他」に含めていた「ビアメカニクス株式会社及び子会社7社の事業」については、「エレクトロニクスプロセス」に名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注状況

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)				当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)			
	受 注 高		受 注 残 高		受 注 高		受 注 残 高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
シートメタルソリューションズ	66,371	70.8	116,601	64.7	83,743	50.2	129,345	46.3
ジョイニングテクノロジーズ	7,816	8.3	15,040	8.4	11,081	6.6	15,813	5.7
カッティングファブリケーター・グラインディングテクノロジーズ	9,509	10.1	10,041	5.6	12,348	7.4	11,573	4.1
アドバンスドフォーミングソリューションズ	9,784	10.5	38,346	21.3	13,508	8.1	45,810	16.4
エレクトロニクスプロセス	—	—	—	—	45,911	27.5	76,791	27.5
その他	300	0.3	—	—	292	0.2	—	—
合 計	93,782	100.0	180,030	100.0	166,886	100.0	279,333	100.0

2. 販売実績

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
シートメタルソリューションズ	53,227	68.8	63,586	63.5
ジョイニングテクノロジーズ	6,158	8.0	8,440	8.4
カッティングファブリケーター・グラインディングテクノロジーズ	9,949	12.9	9,848	9.8
アドバンスドフォーミングソリューションズ	7,638	9.9	10,308	10.3
エレクトロニクスプロセス	—	—	7,733	7.7
その他	300	0.4	292	0.3
合 計	77,273	100.0	100,210	100.0